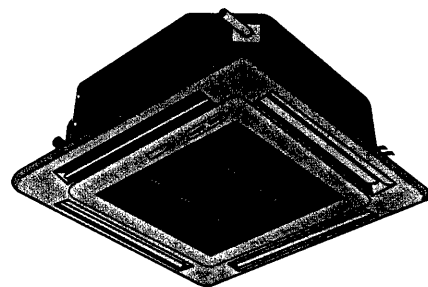
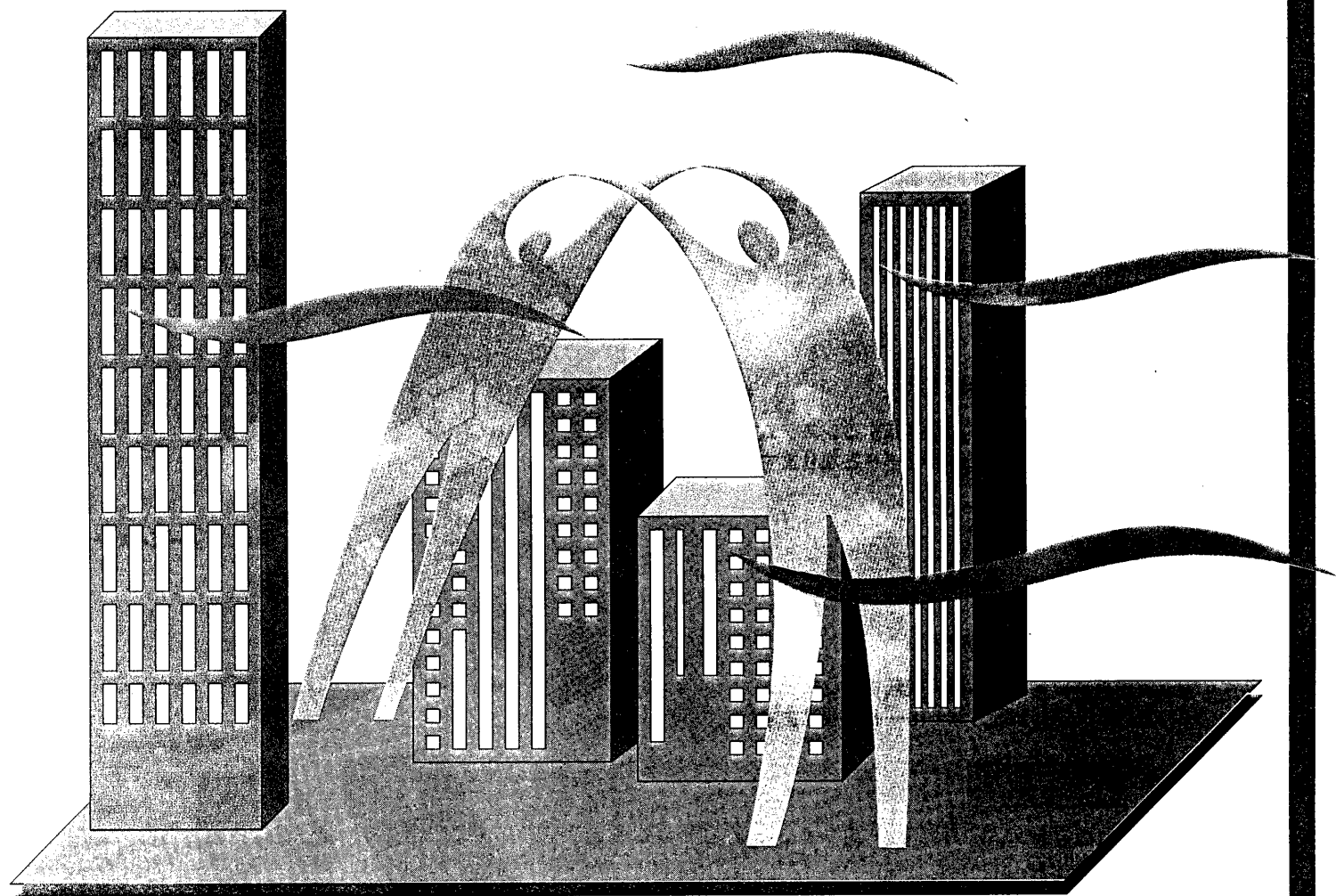
MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン

Mr.SLIM

PLA-J・JA7 シリーズ　コンパクト4方向天井カセット形

取扱説明書

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

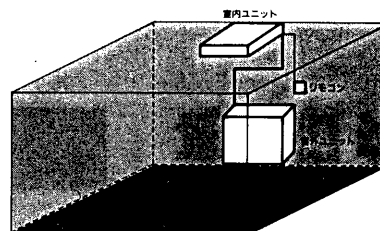
- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管ください。
- 保証書は「お買上日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管ください。
- お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。
- お客さまご自身では据付・移設をしないでください（安全や機能の確保ができません）。

組合せ いろいろ

運転モード（2タイプ）

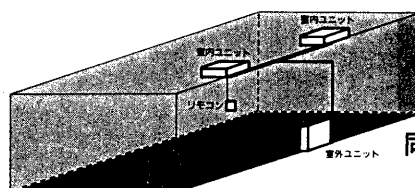
冷暖兼用タイプの場合：送風・ドライ・冷房・暖房・自動
冷房専用タイプの場合：送風・ドライ・冷房　　　　　　となります。

標準システム

1台の室外ユニット
1台の室内ユニット
1個のリモコン　　　で構成された標準的なシステム

標準システム

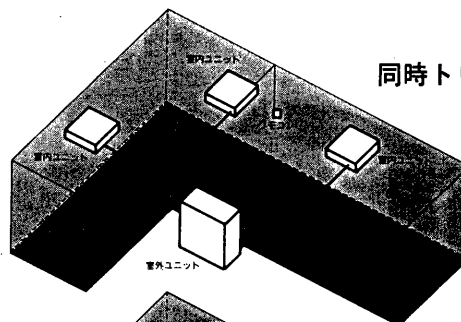
同時ツインシステム

1台の室外ユニット
2台の室内ユニット
1個のリモコン　　　で構成され

1室を室内ユニット2台が同時運転するシステム
全ての室内ユニットが同じ運転モードとなります。

同時ツインシステム

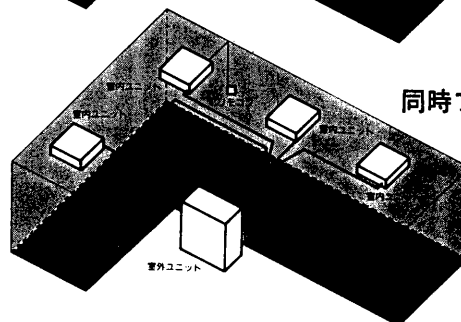
同時トリプルシステム

1台の室外ユニット
3台の室内ユニット
1個のリモコン　　　で構成され

1室を室内ユニット3台が同時運転するシステム
全ての室内ユニットが同じ運転モードとなります。

同時トリプルシステム

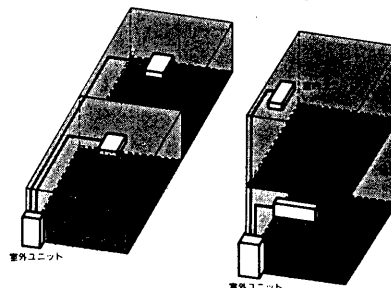
同時フォーシステム

1台の室外ユニット
4台の室内ユニット
1個のリモコン　　　で構成され

1室を室内ユニット4台が同時運転するシステム
全ての室内ユニットが同じ運転モードとなります。

同時フォーシステム

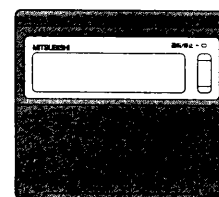
個別ツインシステム

1台の室外ユニット
2台の室内ユニット
2個のリモコン　　　で構成され

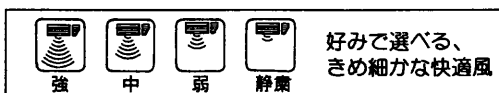
1台の室外ユニットで2台の室内ユニットが個別に運転するシステム
2台の室内ユニットを別々の運転モードとすることができます。

個別ツインシステム

リモコン

- ワイヤードタイプ、ワイヤレスタイプがあります。
- 1システムに2個のリモコン（ワイヤード、ワイヤレス併用可）までは接続可能です。

ワイヤレスタイプ

ワイヤードタイプ

① 快適性

●選べる快適さ
風速４ノッチ

●快適な風を吹き分ける
オートベーン

② 静音性

室内ユニットの風速調整に
静粛ノッチ付き

③ お手入れ性

●ロングライフフィルターで、約2,500時間のフィルター清掃不要
●フィルタークリーニングサインで、清掃時期のお知らせ
●オートベーンの汚れもサッと一拭きの植毛レスベーンを採用

④ インテリア性

●室内ユニット
インテリアにフィットしたソフトなデザイン

もくじ

お使いになる前に

運転のしかた

お手入れのしかた・困ったときに

●この取扱説明書の上手な使い方

ミスタースリム知恵袋　ミスタースリムDr.情報
ワイヤードリモコン情報　ワイヤレスリモコン情報

と４つの情報が運転のしかたの順で掲載されています。通常の操作は運転のしかたをご覧いただき、より上手な使い方や、より詳しく知りたい時に、この４つの情報をご利用ください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。

● 表示と意味は次のとおりです。

表示	意味
⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

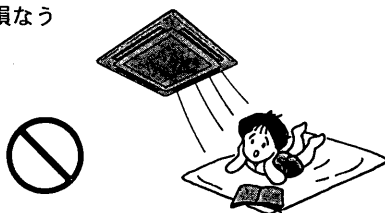
● 図記号の意味は次のとおりです。

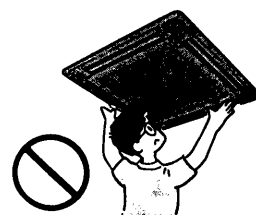
図記号	意味
	絶対に行なわないでください。
	必ず指示に従い行なってください。
	必ずアース工事を行なってください。
	回転物に注意してください。（この図記号は本体に表示があります）

● ご使用時

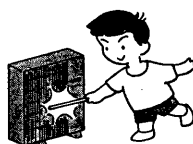
⚠警告

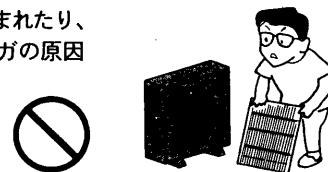
長時間直接お肌に風をあてない

●体調悪化や健康を損なう原因になります。

お客さま自身で分解・修理・改造はしない

●不備があるとユニットの落下によるケガ・感電・火災・水漏れの原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

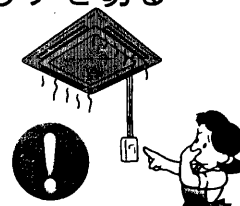
■特にお子さまにご注意を！

●内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

パネルやガードを外さない

●機器の回転物・高温部・高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

エアコン及びリモコンを水洗いしない

●ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になることがあります。

異常時（こげ臭いなど）は運転を停止して、電源スイッチを切る

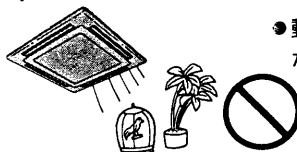
●異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。お買上げの販売店にご連絡ください。

濡れた手で電源スイッチを操作しない

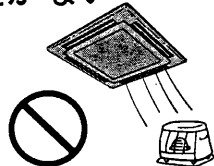
●感電の原因になることがあります。

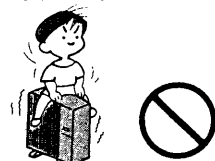
⚠注意

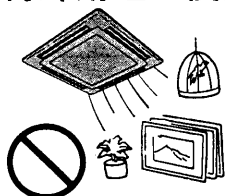
燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

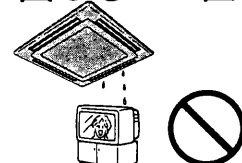
●換気が不充分の場合は、酸欠事故の原因になることがあります。

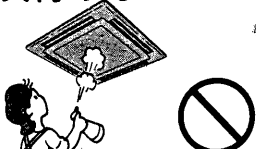
直接風があたる所に動植物を置かない

●動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

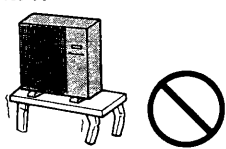
直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

●不完全燃焼の原因になることがあります。
●エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

●落下・転倒によるケガの原因になることがあります。

特殊用途に使用しない

●精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。
品質低下の原因になることがあります。

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

●湿度の高いときや、ホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になることがあります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

●火災・変形の原因になることがあります。

据付台などがいたんだ状態で放置しない

●ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になることがあります。

フィルターの着脱のときは不安定な台に乗らない

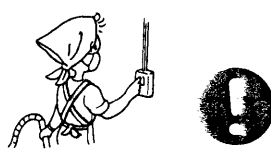
●落下・転倒によるケガの原因になることがあります。

運転中に冷媒配管に触らない

●運転中の冷媒配管は、流れる冷媒の状態により、低温と高温になります。
素手で触れると凍傷ややけどになるおそれがあります。

フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

●目にゴミが入り、ケガの原因になることがあります。

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

●運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になることがあります。

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所には据付けない。

リモコンを先がとがった物で押さない。

●感電、故障の原因となることがあります。

安全のために必ず守ること

● 据付け時

（この頁の詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

⚠警告

お客さまご自身で据付け・移動・再据付けしない

●工事に不備があると、ユニットの落下によるケガ・感電・火災・水漏れの原因になることがあります。お買上げの販売店にご依頼ください。

小部屋に据付ける場合などは、換気対策を行なう

●万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策が必要です。冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。

使用される別売部品は当社指定品であること

●ドレンアップメカ・各種フィルターなどの別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

●ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

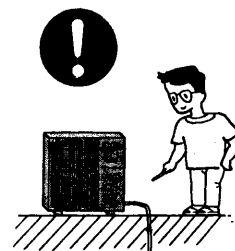
●異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。

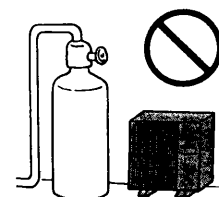
設置場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断器を取付ける

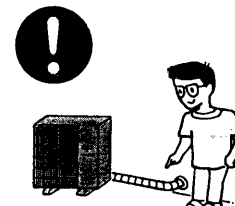
●取付けていないと、感電の原因になることがあります。

⚠注意

アース工事を行なう

●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

可燃性ガスの洩れる恐れのある場所へは据付けない

●ガスが洩れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になることがあります。

ドレン配管は確実に行なう

●配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になることがあります。

■冷媒（フロンガス）についてのご注意

● このエアコンには、不燃性･非毒性･無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が洩れたときの処置）

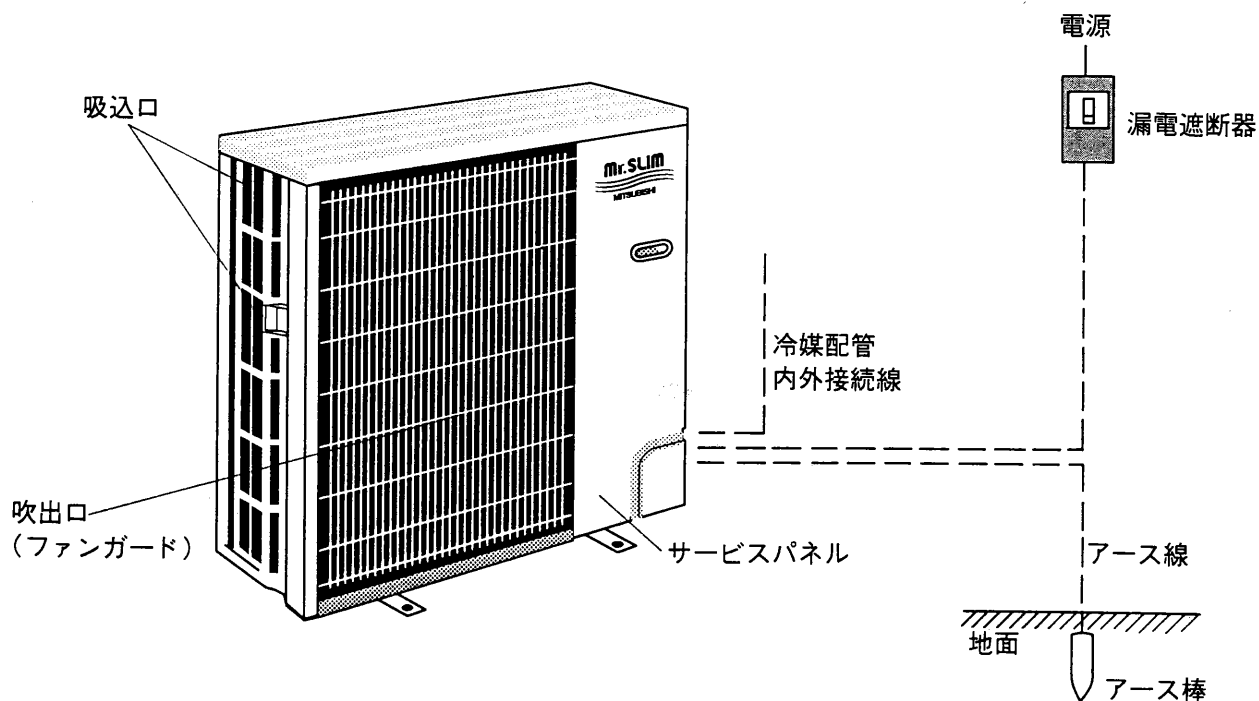
万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行なってください。
その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

■次の場所への据付けは避けてください。

- 油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスの多い所
- 海浜地区など塩分の多い所
- 積雪により室外ユニットが塞がれる所

本体が腐食しガス洩れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

各部のなまえ

室内ユニット

社名表示及びワイヤレスリモコン受光部
（別売部品）

補助ヒータ
専用電源

補助ヒータ
専用開閉器
（電流制限付）

ワイヤードタイプ　ワイヤレスタイプ

吹出口

冷媒配管
内外接続線
ドレン配管

吸込口
（吸込グリル）

ロングライフ
フィルター

リモコン

表示部

操作部

表示部

操作部

ワイヤレスリモコン　ワイヤードリモコン

室外ユニット

ワイヤードリモコン（別売部品）

ワイヤードリモコン情報

●電源を入れたとき、リモコン表示部に通電〝入″表示（◉）とHO点滅と運転ランプ点滅が表示されます。約2分間（HO点滅が消えるまで）お待ちください。停電が復帰したときにも動作（HO点滅）します。
●運転ランプやエラーNo.が点滅しているときは点検が必要です。エラーNo.をメモして主電源を切り、お買上げの販売店へご連絡ください。
●エラーNo.には次の種類があります。

No.	異常区分	エラーNo.（異常現象分類記号）
1	室内ユニット側の異常	P1～P8
2	室外ユニット側の異常	U1～U9, UA～UL, F1～F9
3	リモコン、室内・室外ユニット間通信異常	E0～E9, EA～EF
4	その他（制御系統）	A0～A8

ワイヤレスリモコン（別売部品）

●下図に示すイラストは、全表示を示していますが、説明のためで、通常とは異なります。リセットボタン（リモコンの裏側にあります）を押したときに同じ現象（全表示を表示）となります。
●電池を入れた場合（もしくは交換）、この後必ずリセットボタンを押してください。

表示	内容
電池マーク	電池消耗
時計マーク	タイマー
電波マーク	送信表示

運転モード表示部
冷房　ドライ 暖房　送風　自動
風向表示部
上下風向 スイング
風速
この機能はありません

表示部

送信部

設定温度表示　℃

時刻表示
現在時刻
タイマー時刻

運転／停止

室温調節	
△	上げる
▽	下げる

室温調節

運転切換
（運転モード切換）

風速調節

時刻

タイマー
切タイマー
入タイマー
時
分

風向
上下風向
ルーバー

運転／停止　運転切換　風速　時計　予約・取消　切タイマー　入タイマー　時　分　風向　ルーバー　MITSUBISHI

フタ開閉時指掛け部

操作部（フタを閉めた状態）

操作部（フタを開けた状態）

ワイヤレスリモコン情報

●電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから〝ピッピッ〟と発信音がすることがあります。約2分間お待ちください。初期自動点検中です。
●リモコンの送信部から発信された信号が室内ユニットの受光部へとどき、室内ユニットのマイコンが作動すると〝ピッ〟と音を出してお知らせしますが、この信号のとどく範囲の目安は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、受光範囲は蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号がとどきにくくなることがあります。
●室内ユニットの受光部付近に組み込まれた運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。お買上げの販売店へご連絡ください。
●リモコンの取扱いは大切に！落としたり、衝撃を与えない。また、水に濡らしたり、湿度の高いところに置かないでください。
●分解しないでください。紛失防止のためにリモコンホルダー（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。
●リモコンホルダーへのはめ込みは下側から挿入する。(右図①→②の順)
リモコンホルダーから取り外すときは、リモコンの中央部を持って引き出してください。
(右図 ⇨⇦ 間を持って手前に引く。)

運転/停止, 運転モード切換, 室温調節

■ 〔運転／停止〕 ボタンを押す前に：

電源が入っていますか。
エアコン使用期間中は電源を切らないでください。
外気温度が10℃以下で１日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上お待ちください。

1 運転・停止をするとき

① 〔運転／停止〕 ボタンを押す。

運転ランプ	点灯	→	消灯
リモコン表示	表示	←	ワイヤードリモコン ➡ ◉のみ表示 ワイヤレスリモコン ➡ 表示なし
設定	運転		停止

2 運転モードを切換えるとき

② 〔運転切換〕 ボタンを押す。

● 〔運転切換〕 ボタンを１回押すごとに、リモコンの表示とともに設定が切換わります。

ワイヤードリモコン

表示	→冷房	→ドライ	→送風	→自動	→暖房	→換気
冷暖兼用タイプ	冷房	ドライ	送風	自動	暖房	換気 ※1
冷房専用タイプ	冷房	ドライ	送風	／	／	換気 ※1

ワイヤレスリモコン

表示	→冷房	→ドライ	→自動	→送風	→暖房
冷暖兼用タイプ	冷房	ドライ	自動	送風	暖房
冷房専用タイプ	冷房	ドライ	冷房 ※2	送風	送風 ※2

※１ 換気装置が連動されていない場合は、表示されないし、設定もできません。
• 換気装置が連動されている場合、全ての運転モードで連動しています。
• ワイヤレスリモコンの場合は、換気装置単独運転モードとすることはできません。

※２ 表示と運転モードとが異なります。

3 設定温度を変えたいとき

■室温を下げたいとき

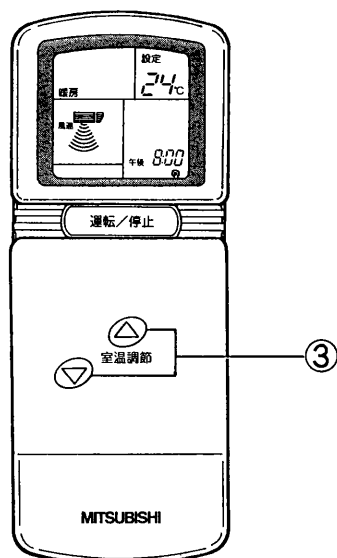
③ ▽ 室温調節ボタンを押す。

● １回押すごとに設定温度が１℃下がります。

■室温を上げたいとき

③ △ 室温調節ボタンを押す。

● １回押すごとに設定温度が１℃上がります。
●温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	19～30℃
暖房運転	17～28℃
自動運転	19～28℃
送風・換気	―― （設定できません）

ミスタースリム Dr. 情報　もうちょっと詳しく知りたい

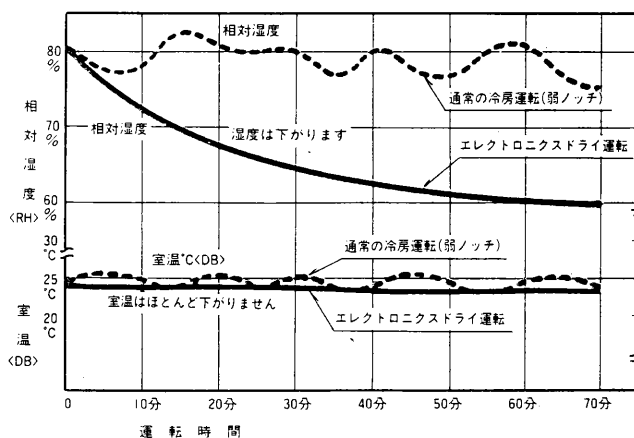
■ドライ運転とは

●ミスタースリムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転・エレクトロニクスドライ運転（ドライ運転）を行ないます。

●ドライ運転では冷やし過ぎを抑え効率的な除湿を行なうため、送風は静粛ノッチ、設定温度になって10分間停止が続くと湿度を低く保つため３分間の制御運転となります。

●室温18℃以下では、エレクトロニクスドライ運転はできません。

●室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行なわれ、リモコンでは設定できません。

●除湿効果例：
〔設定温度24℃、運転開始時温度24℃、湿度80%〕

(1)冷房負荷が小さいため、通常のエアコンでは冷房（弱ノッチ）、ON・OFF運転（5分ON／5分OFF）を繰り返し、除湿効果はほとんど得られない。
(2)エレクトロニクスドライ運転では短時間で除湿効果を発揮します。

■暖房運転について

●暖房開始時に風が出ない　：　冷風を出さないよう室内ファンは吹出し空気の温度上昇に合わせて、停止から設定風速へと徐々に切換わります。（ホットスタートといいます）

●風速が設定どおりでない　：　室温が設定温度となり、圧縮機が停止しているときは微風となります。

●〝霜取中〞〝暖房準備中〞が表示されているときは霜取運転、霜取後冷風を出さないよう室内ファンを停止させます。停止している期間をそれぞれ〝霜取中〞〝暖房準備中〞と表示し、お知らせします。ワイヤレスリモコンでは受光部付近の表示灯の点灯でお知らせします。

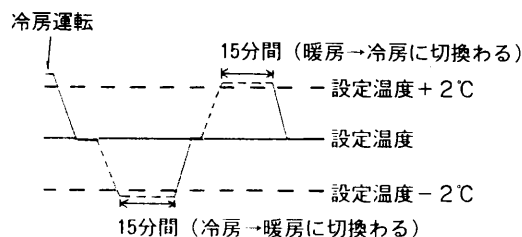
●運転を停止しても風が出る　：　運転停止後約１分間電気ヒータ等の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。このときの風速は静粛ノッチです。

■送風運転

●送風運転はお部屋の空気を循環させる働きをします。冷房・暖房あるいはドライ運転などでエアコンを使用しない時期に換気装置と連動運転を行なうと、より効果的な換気ができます。

■自動運転とは

●設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。

●自動で運転している間に室温が変化し設定温度より２℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切換わります。また、２℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切換わります。

風速調節, 風向調節

4 風速を変えたいとき

④ 〔風速調節〕 ボタンを押す。

- 〔風速調節〕 ボタンを1回押すごとに、リモコンの表示とともに設定が切換わります。

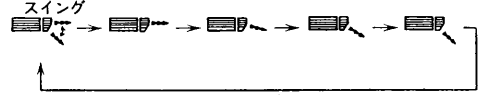



表　示	→	→	→
設　定 (風速ノッチ)	静粛	弱	中	強

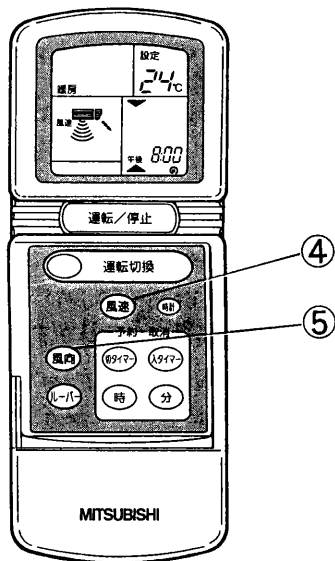
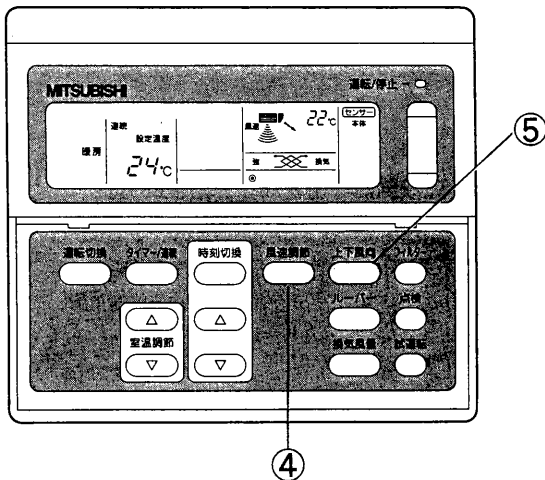
5 風向を変えたいとき

- 運転中にオートベーンを手で絶対に動かさないでください。露たれ・ベーンの故障の原因となります。

⑤ 〔上下風向〕（ワイヤレスリモコンでは〔風向〕）ボタンを押す。

- 〔上下風向〕 ボタンを1回押すごとに、リモコンの表示とともに設定が切換わります。

表　示		スイング →	→	→	→	
運転モード	風速ノッチ					
暖　房 送　風	全ノッチ (強・中・弱・静粛)	スイング	水平吹出し 30°	下吹出し 45°	下吹出し 55°	下吹出し 70°
冷　房	強・中ノッチ					
	弱・静粛ノッチ	スイング	水平吹出し 30°	※1	下吹出し ※2 55° 1時間設定 有効の表示	下吹出し ※2 70° 1時間設定 有効の表示
ドライ	ー					
運転モード変更時		ー	冷房・ドライ 送 風・換 気 運転	ー	ー	暖房運転

※1　ワイヤレスリモコンの場合、表示は下吹出し45° のままですが、ベーンは下吹出し55° の設定となります。
※2　1時間経過すると自動的に水平吹出しにもどり表示が消えます。（ワイヤレスリモコンでは表示されませんが、同様に機能します。）

ミスタースリム Dr. 情報　もうちょっと詳しく知りたい

■ミスタースリムの使用温度範囲

		室　内	室　外
冷房・ドライ	乾球温度	19〜32℃	−5〜43℃
	湿球温度	15〜23℃	−
暖　房	乾球温度	17〜28℃	−11〜21℃
	湿球温度	−	−12〜15℃
送風・換気	乾球温度	−	−

■換気連動運転とは

- ●エアコンの運転を開始すると自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮外気とを混合させて、より効果的な換気を行なうものです。
- ●エアコンを使用しない時期には換気装置単独でも運転ができます。（換気運転）
- ●換気風量の強／弱切換えもエアコンのリモコン（ワイヤードタイプのみ）で行なうことができます。リモコンの［換気風量］ボタンを１回押すごとに〝強〟←→〝弱〟と表示、設定が切換わります。
- ●［換気風量］ボタンを押した時〝この機能はありません〟の表示が点滅する場合、及び運転モードで〝換気〟が表示されない場合は、換気装置が連動されていない場合です。

■風速について：選べる快適性

- ●室内ファンの風速・４段階（ノッチ）を実現しました。

表　示				
設　定（ノッチ）	静粛	弱	中	強

■風向について：

- ●快適な室内温度にするためオートベーンをスイングさせ、水平吹出しから下吹出し70°の間を連続して往復運動を繰り返す機構付きです。
- ●暖房運転では、前回スイングで運転していた時は、再運転（［運転／停止］ボタンを押すだけ）でもスイングでスタートとなっています。冷房・ドライ運転では、再運転時、水平吹出しでスタートとなります。
- ●冷房運転で風速を静粛・弱ノッチ及びドライ運転の時、下吹出し55°、70°に設定しますと〝１時間設定有効〟が表示されます。これはオートベーンや吹出し口周辺などに露つき、露たれが生じたり、露飛びを防止するためです。繰り返しご使用の場合などでこのような現象が発生した場合は、水平吹出しに戻してください。この時〝１時間設定有効〟の表示は水平吹出しへ戻しても約１分間表示を続けてから消えます。

リモコン情報

- ●お好み運転で操作ボタンを押したとき〝この機能はありません〟と点滅表示が出ることがあります。操作ボタンで押した機能が室内ユニットに装備されていないことを示しています。
- ●１個のリモコンで２種類以上の室内ユニットを同時運転しているシステム（組合せいろいろ（１ページ）をご覧ください）の場合の〝この機能はありません〟表示は室内ユニットのすべてに装備されていないときに限り表示されます。１台でも機能を装備した機種があれば表示されません。

ワイヤードリモコン情報

- ●再運転時は下記運転モードとなります。

	再運転時モード		
運転モード	前回運転モード		
温度設定	前回設定温度		
風　速	前回設定風速		
上下風向	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し
		暖房	前回設定
		送風・換気	水平吹出し

ワイヤレスリモコン情報

- ●リモコンの電池を組込み（リセットボタンを必ず押してください）の場合は初期設定、２回目以降は再運転時モードとなります。

	初期設定	再運転時モード		
運転モード	送風	前回運転モード		
温度設定	──	前回設定温度		
風　速	強	前回設定風速		
風　向	水平吹出し	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し
			暖房	下吹出し
			送風	水平吹出し

タイマー運転（ワイヤードリモコンの場合）

■ タイマー運転には次の３つの方法があります。

1．運転・停止の両方をタイマーで行なう 入・切タイマー運転
2．運転の開始をタイマーで行ない、停止は （運転／停止） ボタンで行なう 入タイマー運転
3．運転の開始は （運転／停止） ボタンで行ない、停止をタイマーで行なう 切タイマー運転

■ タイマー運転の設定は、24時間以内に開始・終了共に１回以内です。

● 10分単位に時刻設定ができます。

■ （タイマー） の表示がされているとき（タイマー運転）は時刻設定・変更はできません。
その時は （タイマー／連続） ボタンを１回押してリモコンの表示を 連続 にしてください。
（タイマー運転の解除）

1 現在時刻の設定を行なう

① （時刻切換） ボタンを押し、〝現在時刻〟を表示。

● （時刻切換） ボタンを１回押すごとに、リモコンの表示が切換わります。

リモコンの表示	現在時刻→開始時刻→終了時刻→表示なし

② （△） ボタンを１回押すごとに１分進み、
（▽） ボタンを１回押すごとに１分戻ります。

● ボタンを押し続けると早送り（早戻し）となります。
● 時刻は１分単位→10分単位→時間単位の順に変化します。
● ボタン操作終了後約10秒でリモコンの表示は消えます。

2 開始時刻の設定を行なう

① （時刻切換） ボタンを押し〝開始時刻〟を表示させる。

② （△） または （▽） ボタンを押して運転を開始したい時刻に合せる。

3 終了時刻の設定を行なう

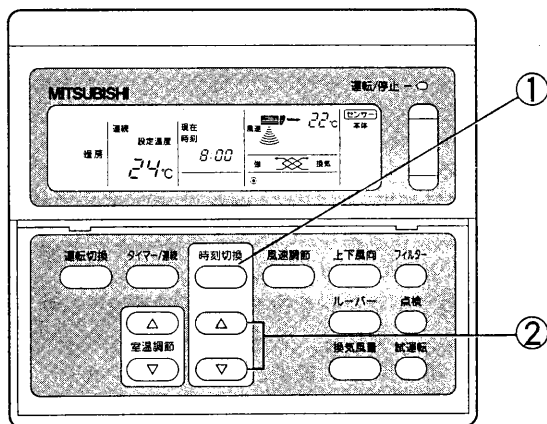
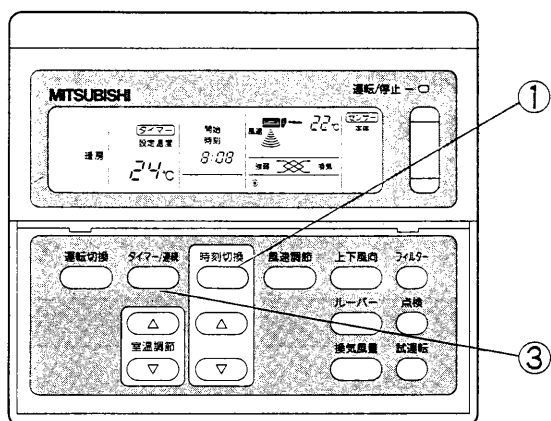
① （時刻切換） ボタンを押し〝終了時刻〟を表示させる。

② （△） または （▽） ボタンを押して停止したい時刻に合せる。

4 時刻の変更をしたいとき

① （時刻切換） ボタンを押して変更したい時刻（現在・開始・終了）を表示させる。

② （△） または （▽） ボタンを押して希望する時刻に合せる。

● 入タイマー運転・切タイマー運転のように一方だけの場合には他方の時刻を --:-- とする。
この表示は23:50の次に表示されます。

5 入・切タイマー運転を行なうとき

① [時刻切換] ボタンを押して〝現在時刻〟が正しいこと、運転開始時刻、運転終了時刻が希望の時刻と同じことを確かめる。

- 時刻の設定・変更は前ページ（13ページ）をご覧ください。
- 約10秒で時刻の表示は消えます。

③ [タイマー／連続] ボタンを押し、リモコンに [タイマー] の表示をする。

- [タイマー／連続] ボタンを1回押すごとにリモコンの表示と共に設定が切換わります。

リモコン表示	連　続 ⇄ (タイマー)
設　　定	―― 　タイマー運転

6 入タイマー運転を行なうとき

① [時刻切換] ボタンを押して〝現在時刻〟の正しいこと、運転開始時刻が希望の時刻と同じで、運転終了時刻が [--:--] の表示であることを確かめる。

- 時刻の設定・変更は前ページ(13ページ)をご覧ください。

③ [タイマー／連続] ボタンを1回押し、リモコンに [タイマー] の表示をする。

7 切タイマー運転を行なうとき

① [時刻切換] ボタンを押して〝現在時刻〟の正しいこと、運転終了時刻が希望の時刻と同じで、運転開始時刻が [--:--] の表示であることを確かめる。

- 時刻の設定・変更は前ページ(13ページ)をご覧ください。

③ [タイマー／連続] ボタンを押し、リモコンに [タイマー] の表示とする。

タイマー運転（ワイヤレスリモコンの場合）

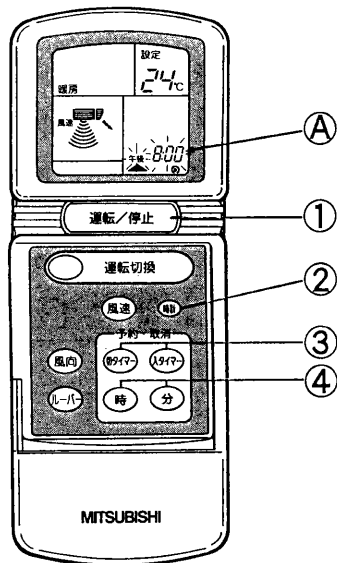
■タイマー運転には次の３つの方法があります。

①運転・停止の両方をタイマーで行なう 入・切タイマー運転

②運転の開始のみをタイマーで行なう 入タイマー運転

③停止のみをタイマーで行なう 切タイマー運転

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入り・切り各１回以内です。

■リモコンへの時刻設定は、室内ユニットの受光部に向けて行なう必要はありません。

電池を入れて初めて現在時刻を設定する時は、手順３から操作してください。

1 時刻の設定・変更を行なうとき

<table>
<tr><th>手順</th><th>現在時刻の設定・変更</th><th>入り時刻の設定・変更</th><th>切り時刻の設定・変更</th></tr>
<tr><td>1</td><td colspan="3">① 運転／停止 ボタンを押す
●リモコンに表示の出ている状態とする。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>② 時計 ボタンを押す
●Ⓐ部に▲が表示。</td><td>③ 入タイマー ボタンを押す
●Ⓐ部に▲・▼入 が表示。</td><td>③ 切タイマー ボタンを押す
●Ⓐ部に▼・▲切 が表示。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td colspan="3">④ 時 分 ボタンを押して時刻※を合わせる
● 時 ボタンを１回押すごとに１時間進みます。
● 分 ボタンを１回押すごとに１分進みます。 ／ ● 分 ボタンを１回押すごとに10分進みます。</td></tr>
<tr><td>※現在時刻に合わせる。</td><td>※入り希望時刻に合わせる。</td><td>※切り希望時刻に合わせる。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>② 時計 ボタンを押す</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>表示・設定</td><td>●Ⓐ部の▲表示は約１分間点灯し、自動的に消え、設定完了となります。
●設定途中で▲表示が消えた場合は、手順２へ戻ってください。</td><td colspan="2">●Ⓐ部の▲表示は約10秒間点灯し、自動的に消え、設定完了となります。
●設定途中で▲表示が消えた場合は、手順２へ戻ってください。</td></tr>
</table>

●入タイマー、切タイマーの時刻設定は、現在時刻が設定されていないとできません。現在時刻を設定後に入タイマー・切タイマーの時刻設定をしてください。

2 タイマー運転の設定・取消を行ないたいとき

●リモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから〝ピッ〟と音のすることを確認しながら行なってください。

手順	入·切タイマー運転	入タイマー運転	切タイマー運転
1	① 運転／停止 ボタンを押す ●リモコンのⒶ部に〝現在時刻〟の表示と◉印が点滅表示されます。時刻の正しいことを確かめてください。		
2	●運転モード、設定温度、風速が希望の内容であることを確かめてください。		
3	③ 切タイマー ボタンを押す	——	③ 切タイマー ボタンを押す
	●タイマー時刻の設定は15ページを参照ください。		
	●リモコンのⒶ部に▼・▲切〝切り時刻〟が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンのⒷ部に🕘が表示され、タイマー運転に入ったことを示します。		●リモコンのⒶ部に▼・▲切〝切り時刻〟が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンのⒷ部に🕘が表示され、タイマー運転に入ったことを示します。
4	③ 入タイマー ボタンを押す ●リモコンのⒶ部に▲・▼入〝入り時刻〟が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンのⒶ部に 切り時刻 ↑↓▼入▲切 入り時刻 が表示されます。 ●リモコンのⒶ部の表示で↑↓は↑又は↓のいずれか一方が表示されます。 ↑が表示の場合は入→切 ↓が表示の場合は切→入 の順で動作することを示します。	③ 入タイマー ボタンを押す ●リモコンのⒶ部に▲・▼入〝入り時刻が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンのⒷ部に🕘が表示され、タイマー運転に入ったことを示します。 ●エアコンの運転は自動的に停止され、〝入り時刻〟まで待ちます。	——
表示	●リモコンのⒶⒷ部の表示をそのままにしておいてください。（他の人にタイマー運転中であることを知らせるためです）		
取消	●タイマー運転を取消す場合は、手順の3、4を行なってください。表示が消え、設定が取消されたことを示します。		

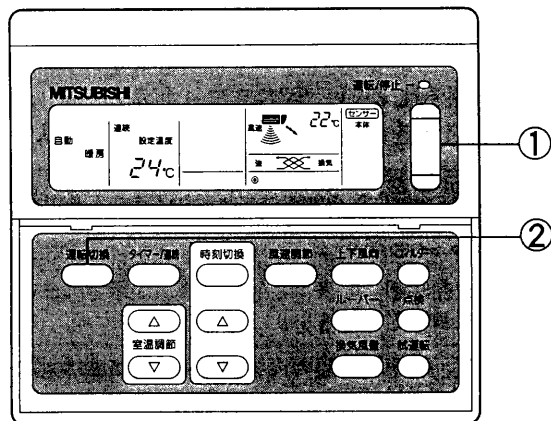
ご注意

◎タイマー予約時、ワイヤレスリモコンの 運転／停止 ボタンを押して停止すると、タイマーは解除されます。

◎タイマー運転が終了して空調機が運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転モードに戻り、連続運転となります。

自動運転・換気連動運転

1 自動運転を行なうとき

- 室温と設定温度との温度差に合わせて、自動的に冷房／暖房が切換わります。
  （ミスタースリムDr. 情報・10ページ）

① [運転／停止] ボタンを押し、運転状態にする。

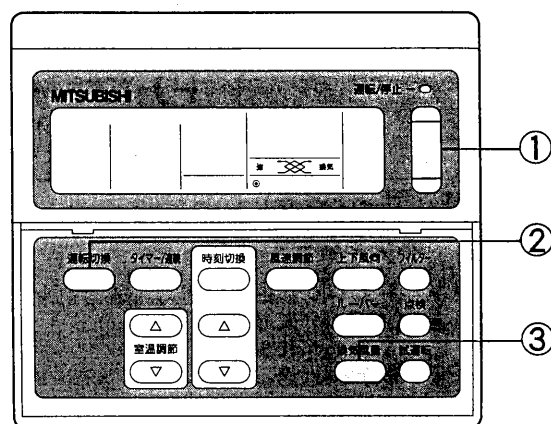
② [運転切換] ボタンを押し、[自動] モードにする。

- [自動] の表示が出るまで [運転切換] ボタンを押す。

冷房 → ドライ → 送風 → 自動 → 暖房 → 換気 ─┐
↑───────────────────────────────┘

[運転切換] ボタンを１回押すごとにリモコンの運転モードが切換わります。

2 換気単独運転を行なうとき

- ワイヤードリモコンの場合に限り可能です。ワイヤレスリモコンでは連動運転はできますが、単独運転はできません。
- 換気装置が連動接続されていない場合、[換気風量] ボタンを押した時〝この機能はありません〟の表示が点滅します。
- 冷房運転・暖房運転などの必要がなく、換気装置のみ運転を行ないたい場合に行ないます。

① [運転／停止] ボタンを押し、運転状態にする。

② [運転切換] ボタンを押し、[換気] モードにする。

3 換気風量を変えたいとき

③ [換気風量] ボタンを押す。

- [換気風量] ボタンを１回押すごとに、リモコンの表示と連動する換気装置の風量の設定が切換わります。

リモコンの表示	弱 換気 （換気弱の場合） ⇄	強 換気 （換気強の場合）
換気風量の設定	弱	強

- エアコンと連動運転する場合は、エアコンの運転モードをお好みのモードにして、[換気風量] ボタンを押すことにより強／弱のいずれかに設定することができます。

ミスタースリム知恵袋 — 上手な使い方

● 〝ミスタースリム〟を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

■室内温度（室温）は最適に

●冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。

●冷やしすぎは健康によくありません。
電力のムダ使いにもなります。

●たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

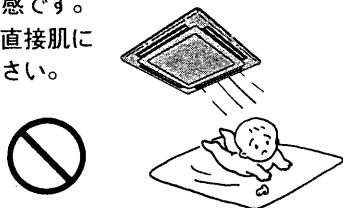
■冷房時は熱の侵入を少なく

●冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。

●出入口は必要なとき以外は開けない。開放のままにしないようにしましょう。

■長時間直接お肌に風をあてない

●長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。

●特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

■フィルターの清掃を

●フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。

●ロングライフフィルターは通常の環境では約2,500時間清掃不要です。シーズンの始めと終わりに清掃してください。

●ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。（詳しくはお手入れのしかた20ページをご覧ください。）

■中間期にはドライ運転を

●ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係がありますが、人間にとって快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。

●このムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎたりで中途半端と感じることがあります。エレクトロニクスドライ（ドライ）運転をご利用ください。

■室内の温度ムラ解消に風向調節を

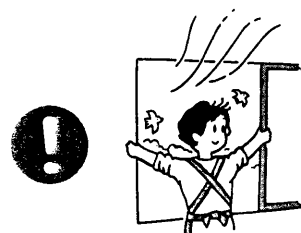
●冷房しているとき、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。

●暖房しているのに足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。暖かい風が床に届くように下吹出しなどにして風向を調節してください。

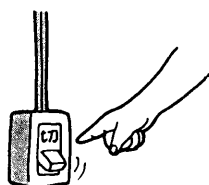
■ときどき換気を

●長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。

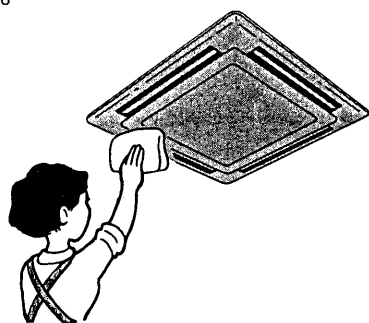
●送風運転では、室温の設定はできませんが、お部屋の空気を循環させる働きをします。

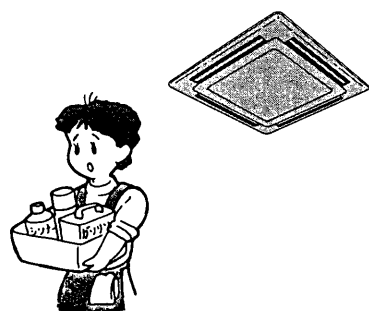
●冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇と連動運転しますと、より効果的な換気ができます。当社〝ロスナイ換気扇〟を利用しますとムダのない換気ができます。

お手入れのしかた

お手入れのまえに

■必ず、電源を「切」にしてください。

室内ユニットの清掃

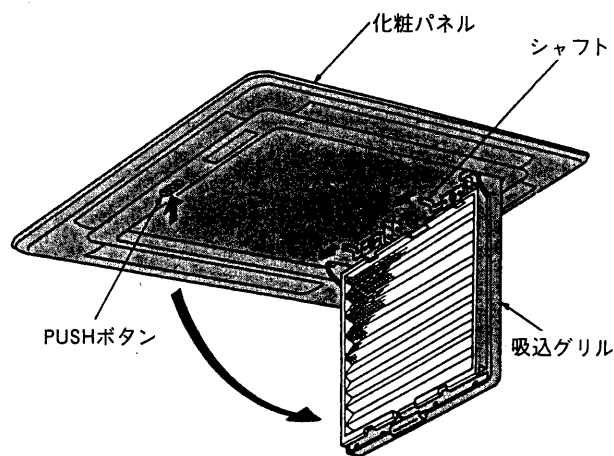
■やわらかい布でから拭きをしてください。

■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押したりしないでください。故障の原因になります。

■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用してください。

■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

吸込グリルの清掃

1 吸込グリルを取外す。

①吸込グリル外側の PUSH ボタンを押すと、吸込グリルが自動的に開きます。

②吸込グリルのヒンジ部のシャフトを横へスライドすれば、化粧パネルから吸込グリルが取外せます。

⚠注意

吸込グリルを取外すときは、目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行なうときは、転倒しないように注意してください。

2 吸込グリルを水洗いする。

■やわらかい布で軽く拭くように洗ってください。水洗いのあとは、やわらかい布で水分を拭きとって陰干ししてください。

■家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使うときは、洗剤が残らないよう、よく水洗してください。

■タワシやスポンジの硬い面などで洗うと傷つくので使わないでください。

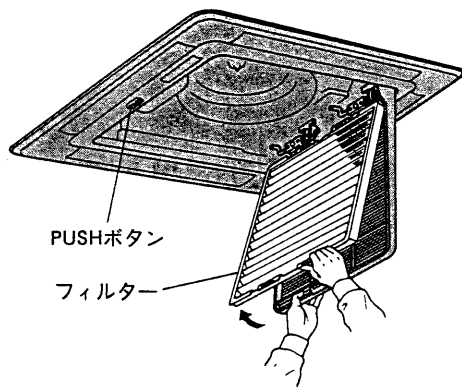
■長時間（2時間以上）温水や水につけておかないでください。直射日光や直接火などで乾燥させないでください。変形や変色の原因となります。

3 吸込グリルを元の状態に（取外しの逆の手順）取付ける。

ロングライフフィルターの清掃

1 フィルターを取外す。

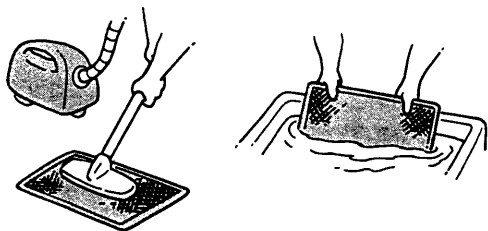
■吸込グリルを開いてください。(19ページ参照)

■吸込グリルに取付けられたフィルターを手前に引くとフィルターが外れます。

⚠注意

ロングライフフィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行なう時は、転倒しないように注意してください。

2 ロングライフフィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

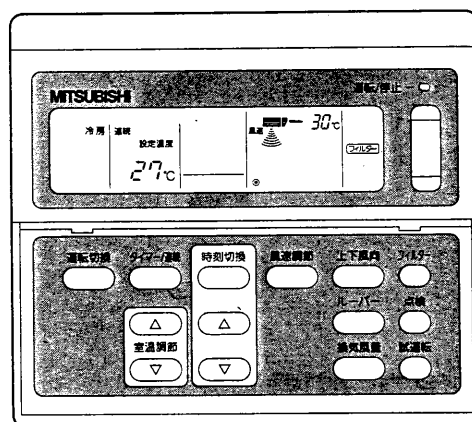
■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。

■熱い湯(約50℃以上)で洗わないでください。変形することがあります。

3 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。

■ロングライフフィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさないでください。

4 フィルターを元の状態に(取外しの逆の手順)取付ける。

フィルター清掃時期がくると

リモコンに〝フィルター〟(フィルタークリーニングサイン)表示を点滅させてお知らせします。
※一般事務所などでロングライフフィルターの清掃時期は、運転積算時間で約2500時間です。

〝フィルター〟表示をリセットする

1 フィルター清掃後 [フィルター] ボタンを2度押す。

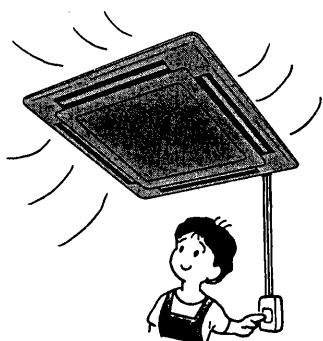
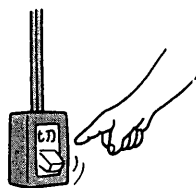
■ [フィルター] ボタンを2度続けて押すと、リモコンの〝フィルター〟表示が消えリセットされます。

■複数台の異形態の室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります(ロングライフフィルター:約2500時間、一般フィルター:約100時間)。清掃時期は短い時間により〝フィルター〟表示されます。また、フィルター表示を消すと全ての積算時間がリセットされます。

■〝フィルター〟表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

長期間ご使用にならないとき

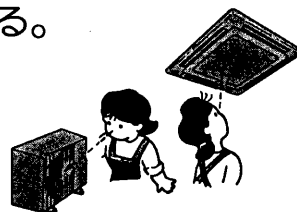
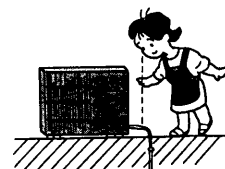
長期間ご使用にならないとき

1 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

2 エアコンの電源を切る。

3 <ワイヤレスリモコン使用の場合>リモコンから乾電池を取出す。

再度使い始めるとき

■下記作業1～4の点検を行ない、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

1 ロングライフフィルターを掃除して、取付ける。

2 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。

3 アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

⚠注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行なう場合は販売店にご相談ください。

4 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

5 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

別売部品について

パッケージエアコンには、多様な使い方に対応いただけるように、専用の別売部品を用意しています。
詳細はお買上げの販売店にご相談ください。

室内ユニット用別売部品

- フィルター　高性能フィルター（比色法　65%）………… 例えば、学校・学習塾等、チョークの粉などが多い環境でお使いください。

  ※高性能フィルターを採用される場合は、多機能ケースメントが必要です。
- 多機能ケースメント ………………………… 新鮮な外気を室内に取込む時に使います。
- 吹出口シャッタープレート ………………… 吹出口数を３方向にする時に使います。
- 加　湿　器 ……………………………………… 暖房時、お部屋の湿度が不足する場合にお使いください。
- スペースパネル …………………………… 天井ふところが浅い天井に設置する場合に使います。

室外ユニット用別売部品

- 吹出しガイド ……………… 風の吹出し方向を変更する部品です。
- エアガイド ………………… −15℃での低外気冷房を可能にする部品です。
- ドレンソケット／集中排水ドレンパン …… 通路上への架台設置、又はドレンを一ヶ所から排水する場合に使用する部品です。
- 防雪ダクト ………………… 降雪地域で、室外ユニットへの雪の侵入を防ぐ部品です。
- 安全ネット ………………… 吸込口、吹出口を外力から保護する部品です。
- 進相コンデンサ …………… ３相電源機種の力率改善にご利用ください。

制御用別売部品

- スケジュールタイマー …… １週間の曜日毎、運転時間を２モード（終日停止を含むと３モード）から選定できます。
- 集中コントローラ／マルチパネルコントローラ …… 室内ユニット50台までを集中制御できます。集中制御には、一括／グループ毎に運転・停止／運転モードの切替え／設定温度の変更などを行なうことができます。

もう一度お確かめください

おかしいな Q 変だな？故障かな	A お答えします	！ 説明します
動かない！ ①リモコンの運転表示が点灯しない。	①電源開閉器を入れてください。 リモコンの表示部に、電源の〝◉〟が点灯します。	①電源が入っていませんとリモコンの表示部に電源の表示〝◉〟が点灯しません。
②リモコン表示部に〝集中管理中〟の表示が出ている。	②〝集中管理中〟を解除してください。 表示が出ていませんか？ お確かめください。	②〝集中管理中〟の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。
③再運転のために、停止後すぐに運転・停止ボタンを押した。	③再運転をした場合は、約３分間お待ちください。	③マイコンの指示でエアコンを保護しています。
④リモコンの表示部にエラーコードが、点灯している。	④リモコンの表示部にエラーコードが表示されていませんか？ お確かめください。	④〝自己診断機能〟が作動してエアコンを保護しています。 サービスを申し付けください。
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	①リモコンでタイマー運転にしていた。 運転・停止ボタンを押して停止してください。	①リモコンで入りタイマー運転を設定すると、自動的に指定された時刻に運転を開始します。
	②遠方コントロールで運転を指示した。 運転を指示したところへ確認してください。	②遠方コントロールが接続されている場合、遠方で運転の指示をすると自動的に運転を開始します。
	③集中管理室で運転を操作した。 運転を指示したところへ確認してください。	③リモコンに〝集中管理中〟の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転を開始します。
	④停電していて電源が復帰した。 運転・停止ボタンを押して停止してください。	④運転中に停電になったとき、電源が復帰すると自動的に運転を開始する停電自動復帰の機能に設定されていた。 ＊停電自動復帰の機能を作動させない場合は、販売店・工事店またはサービスにご連絡ください。
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	①リモコンでタイマー運転にしていた。 運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。	①リモコンで切りタイマー運転を設定すると、自動的に指定された時刻に運転を停止します。
	②遠方コントロールで停止を指示した。 停止を指示したところへ確認してください。	②遠方コントロールが接続されている場合、遠方で運転の指示をすると自動的に運転を停止します。
	③集中管理室で運転を操作した。 停止を指示したところへ確認してください。	③リモコンに〝集中管理中〟の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転が停止します。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	そのままお使いください。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が出る場合があります。
室外ユニットより水・水蒸気がでる。	そのままお使いください。	①冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき、滴下するためです。 ②暖房時には熱交換器についた水が滴下するためです。 ＊これらの水をまとめて別に排水する場合、別売部品〝ドレンソケット／集中排水ドレンパン〟をご利用ください。

おかしいな Q 変だな？故障かな	A お答えします	! 説明します
よく冷えない。 よく暖まらない。	①温度調節を確認して、設定温度を調節してください。	①設定温度が適切でない。
	②フィルターの清掃をしてください。	②フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下したため。
	③室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。	③室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれている。
暖房運転ですぐに風が吹出されてこない。	そのままお待ちください。	充分な暖かな風をお届けするために準備中です。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	そのまま約10分程お待ちください。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。
水の流れるような音がする。	異常ではありません。 そのままお使いください。	エアコン内部の冷媒が流れる音です。
時々〝プシュッ〟と音がする。	異常ではありません。 そのままお使いください。	エアコン内部の冷媒の流れが切換わるときの音です。
〝ピシッ、ピシッ〟という音がする。	異常ではありません。 そのままお使いください。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
風向が途中で変わる。	そのままお使いください。 必要に応じて再セットしてください。	①冷房運転中、下吹出しで使用しますとマイコンが自動的に1時間後に水平吹出しに切換えます。 これは水滴が滴下するのを防ぐためです。 ②暖房運転中は、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。
リモコンのタイマー運転がセットできない。	スケジュールタイマーで行なってください。	スケジュールタイマーが接続されていませんか？この場合はスケジュールタイマーでセットとなります。
リモコンに〝HO〟の表示がでる。	そのままお待ちください。	初期自動点検（約2分）を行なっているためです。
リモコンに故障記号が表示される。 ＊故障記号：7ページ参照	エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。	自己診断機能を搭載しています。 ＊自分では絶対に修理しないでください。
ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。	乾電池が消耗しています。 ＊新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方（+, −）を再度確認ください。
ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯が点滅する。	エアコンの電源を切り、お買上げ販売店に製品名を連絡してください。	自己診断機能を搭載しています。

保証とアフターサービス

■ 保 証 書

• 室内ユニットに保証書を添付しております。
• 保証書は必ず「お買上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
• 内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間	お買上げ日から1年間です。

■ 補修用性能部品の最低保有期間

• パッケージエアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、通商産業省の指導により製造打切り後9年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

お買上げの販売店またはお近くの「三菱電機お客さま相談窓口」（別添）にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるときは

「もう一度お確かめください」（23・24ページ）をよくご覧になってお調べください。
なお不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。

◎保証期間中は

• 修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

◎保証期間が過ぎているときは

• 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理いたします。

◎修理料金の仕組み

修理料金は、技術料＋部品代（＋出張料）で構成されています。

■ ご連絡いただきたい内容

1．品　　名　　室内ユニット・室外ユニット共に！
2．形名・製品番号　　保証書に記入してあります。
3．お買上げ日　　〇〇年〇月〇日
4．故障の状況　　できるだけ詳しく。（リモコンの異常表示記号など）
5．ご住所　　付近の目印なども
6．お名前・電話番号

移設・工事・点検について

■ 移設について

1 増改築・引越しのためエアコンを取り外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
2 据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒（R-22）以外のものを混入させないでください。

■ 設置場所について

1 設置・移設をする場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
2 可燃性ガスの洩れる恐れがあるところは避けてください。
3 ・機械油の多いところ
・海浜地区等塩分の多いところ
・湿気の多い場所
・温泉地帯
・硫化ガスのあるところ
・高周波加工機（高周波ウェルダー等）のあるところ
・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。ご使用は避けてください。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
4 室内ユニットは必ず水平に据付けてください。
水たれなどの原因となります。

■ 保守点検契約のおすすめ

・エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては、臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をお勧めします。

■ 電気工事について

1 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
2 電源は、エアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカやヒューズが切れることがあります。
3 万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくは、お買上げの販売店にご確認ください。
4 据付場所によっては、漏電ブレーカの取付けが義務付けられています。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。
5 ブレーカ・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■ 騒音にもご配慮を

1 据付けにあたっては、エアコンの重量に充分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
2 室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
3 室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
4 エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買上げの販売店にご相談ください。
5 病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なって施工してください。

仕　様　表

本表は1対1の組合せのみを記載しております。マルチの組合せでの仕様についてはカタログ等を参照してください。

ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

50/60Hz

冷暖房形セット形名	ヒータレス	PLH-J40SJA7G	PLH-J40JA7G	PLH-J45SJA7G	PLH-J45JA7G	PLH-J50SJA7G	PLH-J50JA7G	PLH-J56SJA7G	PLH-J56JA7G
	ヒータ付	PLH-J40SJAH7G	PLH-J40JAH7G	PLH-J45SJAH7G	PLH-J45JAH7G	PLH-J50SJAH7G	PLH-J50JAH7G	PLH-J56SJAH7G	PLH-J56JAH7G
冷房形セット形名	冷房専用形	PL-J40SJA7G	PL-J40JA7G	PL-J45SJA7G	PL-J45JA7G	PL-J50SJA7G	PL-J50JA7G	PL-J56SJA7G	PL-J56JA7G
性能	冷房能力KW	3.6/4.0		4.0/4.5		4.5/5.0		5.0/5.6	
(冷房形は暖房しません。)	暖房能力KW	4.0/4.5 (5.4/5.9)		4.2/4.8 (5.6/6.2)		5.0/5.6 (6.4/7.0)		5.6/6.3 (7.0/7.7)	
	暖房低温能力KW	3.0/3.4 (4.4/4.8)		3.2/3.6 (4.6/5.0)		3.8/4.2 (5.2/5.6)		4.2/4.8 (5.6/6.2)	
室内ユニット形名 (冷暖房・冷房専用形共通)		PLA-J40(S)JA(H)7	PLA-J40JA(H)7	PLA-J45(S)JA(H)7	PLA-J45JA(H)7	PLA-J50(S)JA(H)7	PLA-J50JA(H)7	PLA-J56(S)JA(H)7	PLA-J56JA(H)7
室内ユニット	ヒータ電源	単相200V	3相200V	単相200V	3相200V	単相200V	3相200V	単相200V	3相200V
	騒音：強-中-弱-静粛 dB(A)	35—34—32.5—31				37—35.5—34—32			
	風量：強-中-弱-静粛 m³/min	15—14.5—14—13				16—15—14—13			
	補助ヒータ KW	(1.4)							
	外形寸法(高さX巾X奥行) mm	253×660×660							
	質量 kg	19(20)+3.7							
冷暖房形室外ユニット形名		PUH-J40SGA	PUH-J40GA	PUH-J45SGA	PUH-J45GA	PUH-J50SGA	PUH-J50GA	PUH-J56SGA	PUH-J56GA
冷房形室外ユニット形名		PU-J40SGA	PU-J40GA	PU-J45SGA	PU-J45GA	PU-J50SGA	PU-J50GA	PU-J56SGA	PU-J56GA
室外ユニット	電源	単相200V	3相200V	単相200V	3相200V	単相200V	3相200V	単相200V	3相200V
	騒音 dB(A)	43						44	
	風量 m³/min	40						50	
	外形寸法(高さX巾X奥行) mm	650×900×〔330+20〕						855×900×〔330+20〕	
	質量 kg	51〈50〉				54〈53〉		71〈70〉	

冷暖房形セット形名	ヒータレス	PLH-J63JA7G	PLH-J71JA7G
	ヒータ付	PLH-J63JAH7G	PLH-J71JAH7G
冷房形セット形名	冷房専用形	PL-J63JA7G	PL-J71JA7G
性能	冷房能力KW	5.6/6.3	6.3/7.1
(冷房形は暖房しません。)	暖房能力KW	6.7/7.5 (8.8/9.6)	7.1/8.0 (9.2/10.1)
	暖房低温能力KW	5.0/5.6 (7.1/7.7)	5.2/6.0 (7.3/8.1)
室内ユニット形名 (冷暖房・冷房専用形共通)		PLA-J63JA(H)7	PLA-J71JA(H)7
室内ユニット	ヒータ電源	3相200V	
	騒音：強-中-弱-静粛 dB(A)	39—38—36.5—35	39.5—38—36.5—35
	風量：強-中-弱-静粛 m³/min	17—16—15—14	
	補助ヒータ KW	(2.1)	
	外形寸法(高さX巾X奥行) mm	253×660×660	
	質量 kg	20(21)+3.7	
冷暖房形室外ユニット形名		PUH-J63GA	PUH-J71GA
冷房形室外ユニット形名		PU-J63GA	PU-J71GA
室外ユニット	電源	3相200V	
	騒音 dB(A)	44	
	風量 m³/min	45	
	外形寸法(高さX巾X奥行) mm	855×900×〔330+20〕	
	質量 kg	76〈75〉	

※（　）内の数値は、ヒータ付の場合で組込みの補助ヒータの作動時を示します。冷房専用室内ユニットには補助ヒータはありません。
※／で示される数値は左が50Hz、右が60Hzで、その他は50Hz、60Hz共通です。
※電気特性は製品に貼付してあります製品名板に記入してあります。
※質量の〈　〉内の数値は冷房専用室外ユニットの質量を示します。
◎上表以外の組合せについてはカタログをご参照ください。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後９年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか	● 運転音が異常に大きくなる。 ● 室内ユニットから水が漏れる。 ● 電源が頻繁に落ちる。 ● その他の異常や故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。			
お買上げ店名	電話		
お買上げ（据付）日	年	月	日

三菱電機株式会社

静岡製作所　〒422 静岡市小鹿3-18-1　☎(054)285-1111（代表）

BG79Y392H01